

発航前に機関や燃料等の点検を行いましょ
う日頃の点検を行うことでトラブルを未然に防ぐことができます。

《事故事例》

昨年3月、釣りのため、船外機付ゴムボートに船長1名が乗船して釣り場を移動していたところ、突然、船外機から煙が出て、船外機が起動停止しました。

その後、船外機の再起動を試みましたが、始動出来ず漂流し続けたものです。幸い、事故当時、陸よりの風が吹いていたため、付近の養殖筏に接近し、養殖筏を損傷させること無く船体をロープで固定でき、118番通報により、救助を求めることができたものです。



↑使用したゴムボート



←使用した船外機

《機関故障の原因》劣化したエンジンオイルを使用し、長時間稼働させたことにより、船外機内部が焼き付いたことによるものです。

発航前点検のチェックポイントは、裏面へ

第二管区海上保安本部 海の安全推進室



宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

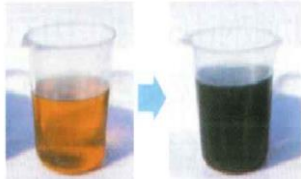
🔍 マリレよろず屋 検索

しっかり点検！発航前に実施をしよう！ 船外機4ストローク編

【機関起動前のチェックポイント！】

エンジンオイル

エンジンオイル(フィルター)の交換、補充を怠ると、エンジン内のシリンダー、ベアリング等の焼き付けを起こすおそれがあります。

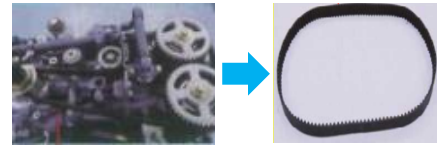


チェックポイント

- ★オイルの量は適切ですか？
- ★オイルフィルターの交換時期は過ぎていませんか
- ★エンジンからの漏れはないですか？

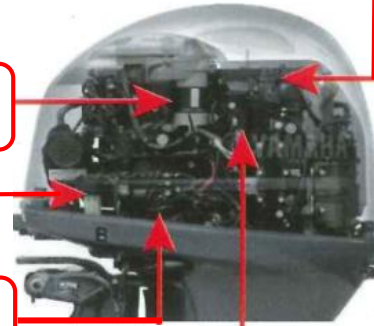
タイミングベルト

ベルトの張り具合の調整または交換しましょう。整備が難しい場合は整備業者に依頼しましょう。



セルモータ

潤滑油フィルター



緊急エンジン停止コード

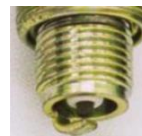
出発前に緊急スイッチコードを衣類や手首に着けましょう

なぜなら…

昨年6月、海中転落事故発生時に緊急エンジン停止コードを未装着の船長が海中転落した際、同船プロペラに巻き込まれるという痛ましい事故が起きました…

スパークプラグ(ガソリン機関のみ)

劣化したスパークプラグを使い続けると、良好な火花を発生できなくなり、燃費の低下やエンジンの始動不良などの原因になります。



新品のスパークプラグ

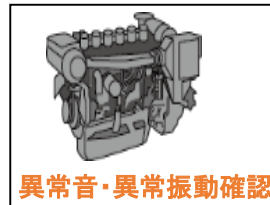


劣化したスパークプラグ

【機関起動後のチェックポイント！】



冷却水の量及び勢いは普段と変わりませんか？



異常音・異常振動確認

異常音、異常振動はありませんか？



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

